

## 隣保館等の概要と地区の状況について

(西一地区)

### I 隣保館等の概要について

#### 1 活動の特徴

混住地である当地区において、新旧住民の連帯を高めることは大きな課題であり、町内会をはじめ各種団体における活動を積極的に支援するとともに、これらの団体の行事が館職員と地域住民との触れあいの機会として力を入れている。

また、教育面では、館に配属されている教職員によって自主活動学級の企画、運営をはじめ、子どもとかかわった諸課題について、各家庭と連携を密にして、子どもたちの生活と学力の向上を保障するための取り組みを行っている。

さらに、平成23年度からは地元のNPO法人ユウ・アンド・アイに各種講座の運営にかかる業務や健康福祉推進にかかる業務、子育て支援事業にかかる業務を委託している。

#### 2 施設の概要

名 称	西一会館
所 在 地	草津市草津町1446-1
開 館 時 間	8:45~17:30
規 模 ・ 構 造	建物面積 1F 489.76㎡ 2F 452.52㎡ 構 造 鉄骨造2階建 (平成20年3月改築)
事業開始年月日	昭和47年4月1日

名 称	西一教育集会所
所 在 地	草津市草津町1446-1
開 館 時 間	8:45~17:30
規 模 ・ 構 造	建物面積 1F 209.99㎡ 2F 210.0㎡ 構 造 鉄筋コンクリート造2階建
事業開始年月日	昭和51年4月1日

#### 3 職員の配置状況

職 名	人員	勤 務 形 態					備 考
		正 規	嘱 託	臨 時	常 勤	非 常 勤	
館 長	1	○			○		
事 務 職 員	2	○			○		
教 育 職 員	2	○			○		
用 務 員	1	○			○		
社会教育指導員	1		○			○	
職業安定協力員	1		○			○	
計	8	6	2		6	2	

NPO職員	人員
事務職員	1
健康福祉推進員	1
子育て保育士	1
計	3

#### 4 事業内容

事業区分	事業名称	事業内容	対象者	
			地区内のみ	近隣を含む
連絡調整に関すること	湖南ブロック地域総合センター連絡協議会	湖南4市8館の地域総合センターの業務全般にかかる協議連絡、研修		
	湖南地区職業対策担当者連絡協議会	湖南地区の職業対策担当者（ハローワーク、県南部環境・総合事務所、年金事務所等）が相互に連絡・協力し、情報収集や研修		
	西一同和教育担当者連絡協議会	同和問題の早期解決を図るために、保・幼・小・中・館の連携を密にし、一貫したかわりを持つ中で、子どもの健全育成をめざすことを目的としている。		
	西一会館運営委員会	各種行政施策を円滑かつ効率的に推進するため、地域住民の意識・要望を的確に把握して館に対し指導助言を行う。		○
	草津市・学区同和教育推進協議会	同和教育の推進徹底を期するために必要な事項を協議し、研修会等具体的な活動を行う。		
相談事業に関すること	健康相談	健康増進課保健師による相談 毎週木曜日（午前中）		○
	保健福祉相談	随時、健康福祉推進員による保健、福祉等に関する相談		○
	就労相談	随時、職業安定協力員による職業、就労等に関する相談		○
	教育相談	随時、教育担当職員による教育や進路等に関する相談		○
	その他の相談	随時、納税、年金、福祉、人権、生活相談等		○
調査及び研究に関すること	調査及び研究事業	会館事業を通して、地域住民のニーズや動向の把握に努める。	○	
	草津学区子ども輝き人権教育推進会議	草津中学校区の保、幼、小、中、高、会館教職員が重い課題をもった児童生徒の生活と学力を高め、進路指導の充実を図るための調査、研究、研修		○

自主的活動の育成に関する こと	各種団体の育成指導	<p>地域の各種団体の自主性を啓発しながら地域課題を自ら解決していくよう各団体の日常活動行事に必要な応じて協力指導し、団体育成に努めることにより、地域全体の教育力の向上をめざしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西一町内会</li> <li>・西一地区同和事業促進協議会</li> <li>・部落解放同盟西一支部</li> <li>・部落解放同盟西一支部女性部</li> <li>・西一さわやか会</li> <li>・小・中P T A</li> <li>・生活安定資金利用者組合</li> <li>・子ども会育成部</li> <li>・自衛消防隊</li> <li>・青年友好会</li> <li>・生産組合</li> <li>・ボランティアグループオアシス</li> <li>・NPO 法人ユウ・アンド・アイ</li> </ul>	○	
教育、文化の向上及び地域交流に関する こと	自主活動学級等	<p>地域の児童生徒の実態に即した、自主的、自発的な学習の促進や、生活態度の向上、地域学習、仲間づくりに資する機会を設けることにより、同和問題解決に向けた意欲と実践力を養うことを目的とする。</p> <p>【講座名】 自主活動学級・子育てサロン・進学教室 質問教室・野外活動 他</p>	○	
	各種講座等	<p>○定期講座 生活技術の習得を図り教養を高めるとともに、受講生相互の交流を深めながら同和問題について理解と認識を深めることを目的とする。</p> <p>【講座名】 書道・珠算・生花・創作教室 等</p>		○
	人権学習講座	<p>○地域交流促進事業 講座を通じて、地域住民相互および近隣住民との交流や同和問題啓発の機会とする。</p> <p>【講座名】 ヨガ・コーラス・パソコン・ハングル カラオケ・軽運動教室</p> <p>○人権学習講座 地域住民が一緒になって同和問題をはじめとして障害者、女性、在日外国人、子ども等のあらゆる人権について、学習し、お互いに意見を交換し考え合うことによって、人権意識をより高めることを目的とする。</p>		○

	西一会館文化祭	自主活動学級や各種定期講座で制作した作品の展示やステージ発表、各種啓発展示等を行い、その中で、同和問題の理解を深め、住民相互の交流を図れるように工夫する。		○
社会福祉の増進等に関する こと	健康相談（再掲）	健康増進課保健師による相談 毎週木曜日（午前中）		○
	交流サロンの活用	閉じこもりの防止や利用者相互の交流、健康機器の利用による健康の維持増進を図る。		○
	デイサービス事業（ほっと事業）	高齢者の生きがいがいづくりと健康の維持増進・予防を目的とし、各種の事業に努める。		○
啓発及び広報活動に関する こと	広報活動	会館だよりを定期的に発行し、地域の住民の人権意識の高揚を図る。 毎月1回	○	
就労の安定に 関すること	就労相談（再掲）	随時、職業安定協力員による職業、就労等に関する相談		○
	職業指導等	職業安定協力員を中心にハローワーク等の関係機関と連携をとりながら、不就労者、転職希望者、新規学卒者への相談活動等の就労支援の推進にあたる。		○

## 5 隣保館等の利用状況

H20年度

教室・講座実施回数 （地区限定募集）	204回	教室・講座参加者累計 （地区限定募集）	2,855人	
教室・講座実施回数 （周辺含む募集）	88回	教室・講座参加者累計 （周辺含む募集）	859人	うち町外 259人
自主活動学級等実 施回数	145回	自主活動学級等参加 者累計	1,328人	
地区団体利用回数	82回	地区団体利用者累計	1,310人	
貸館利用回数（地区 外団体等）	111回	貸館利用者累計	2,171人	
		相談累計件数	1,039件	
		交流サロン等利用者 累計	2,822人	

## H21年度

教室・講座実施回数 (地区限定募集)	209回	教室・講座参加者累計 (地区限定募集)	3,212人	
教室・講座実施回数 (周辺含む募集)	90回	教室・講座参加者累計 (周辺含む募集)	821人	うち町外 551人
自主活動学級等実施回数	140回	自主活動学級等参加者累計	1,687人	
地区団体利用回数	114回	地区団体利用者累計	1,501人	
貸館利用回数(地区外団体等)	103回	貸館利用者累計	1,980人	
		相談累計件数	1,033件	
		交流サロン等利用者累計	3,266人	

## H22年度

教室・講座実施回数 (地区限定募集)	221回	教室・講座参加者累計 (地区限定募集)	3,399人	
教室・講座実施回数 (周辺含む募集)	104回	教室・講座参加者累計 (周辺含む募集)	1,086人	うち町外 679人
自主活動学級等実施回数	146回	自主活動学級等参加者累計	1,708人	
地区団体利用回数	147回	地区団体利用者累計	2,103人	
貸館利用回数(地区外団体等)	207回	貸館利用者累計	2,672人	
		相談累計件数	1,105件	
		交流サロン等利用者累計	7,677人	

## 6 隣保館の課題

新旧住民の混住化が進む地区にある隣保館として、同和行政にかかる住民間の理解や関心に温度差があるため、一層の説明責任が求められると考える。また、開催する講座や事業がマンネリ化してきており、参加率の低下や参加者の減少や固定化が見られるため、新しい事業展開が必要である。

平成23年度からは地元のNPO法人ユウ・アンド・アイに事業の一部を業務委託して、より地域に根ざした福祉と人権のまちづくりの拠点を目指す。

## II 地区の状況について

### 1 地区の概要

当地区は、草津市のほぼ中心に位置し、草津川（天井川）の左岸に沿って形成された集落で、JR 草津駅から徒歩で約10分にあり、京阪神への通勤通学の便利なことから住宅開発が進み、昭和46年で136世帯であったものが平成23年3月末現在で490世帯に増加している。

従前、当地区は不良住宅が密集し、道路は狭あいでも下排水路の整備も不完全な状態であったため、長期計画に基づいて小集落地区改良事業と環境改善事業により、抜本的な整備が進められた結果、ハード事業は完了した。

また、混住地である当地区において同和問題の共通認識を持つことや、新旧住民の交流を広げ、連帯意識を高めることは大きな課題であり、町内会を中心に各種団体における活動を積極的に支援し、明るく住みよい町づくりを目指している。

### 2 世帯数・人口の推移

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
世帯数	(496世帯)	(493世帯)	(498世帯)	(507世帯)	(489世帯)	(490世帯)
人口	(1,207人)	(1,198人)	(1,216人)	(1,227人)	(1,186人)	(1,211人)

※上段は同和関係者の世帯数・人口（）内、町内域全体の世帯数・人口

### 3 地区内団体の活動状況

団体名	活動内容
西一町内会	地域の生活文化の向上、福祉の増進、環境美化、住民の交流活動等を実施し、住みよいまちづくりに取り組んでいる。
西一地区同和事業促進協議会	部落解放の一環として、地域の同和事業の促進を図り、新しい町づくりを推進するとともに、解放意欲、自主自立意欲を向上させる事業を展開する。
部落解放同盟西一支部	昭和48年に支部結成以来、実態的差別解消のため、運動および学習を重ねている。
西一さわやか会	高齢者の生きがいづくり、仲間づくりを図るため毎週金曜日にお楽しみ会を実施したり、研修旅行を催す。
小・中PTA	地域別懇談会、同和教育研修会や地域内PTA主催による子どもとのふれあい事業など、会員の学習、親睦を図る。
生活安定資金利用者組合	生活安定資金利用者組合が、資金の返済日を定め、資金の返済をするとともに学習会等を通じ生活の安定を図り自主自立に努める。
子ども会育成部	研修、レクリエーション、奉仕作業、お楽しみ会等を通じて、健康な体づくり、助け合う心、そして自主協調性を培うように努める。

自衛消防隊	定期的に消防訓練を実施し、町内住民の生命と財産を守ることに寄与する。
青年友好会	修学奨励金の受給者（OBを含む）を中心に、青年層が施策の目的を学び仲間づくりを深め、部落解放の担い手となることを目的とする。
生産組合	地域農業の振興のため、研修会への参加や農機具の利用促進を図っている。
ボランティアグループ オアシス	西一町内を安全で住みやすい町づくりを目指し有志の集まりで組織されている。週1回の夜回りをはじめ、配食サービスや清掃活動を行っている。
NPO 法人 ユウ・アンド・アイ	草津学区を対象として、平成22年に人権・福祉・環境など9つの分野の活動を行っていくために組織された。現在、配食サービスや有償ボランティアを定期的実施している。 また、平成23年度からは西一会館の業務の一部を受託している。

#### 4 教育の状況

##### (1) 中学生の進路状況

	平成19年3月卒	平成20年3月卒	平成21年3月卒	平成22年3月卒	平成23年3月卒
卒業生数	3 (7) 人	9 (10) 人	4 (9) 人	3 (11) 人	2 (12) 人
高校進学者	3 (7)	9 (10)	4 (9)	3 (11)	2 (12)
就職者	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

就職者には、高技専も含む

※( )内町内域全体の人数

##### (2) 高校生の進路状況

	平成19年3月卒	平成20年3月卒	平成21年3月卒	平成22年3月卒	平成23年3月卒
卒業生数	5人	2人	4人	2人	6人
大学・短大進学者	1	1	1	0	4
専修・各種学校進学者	2	0	1	1	1
就職者	2	1	1	1	0
その他	0	0	1	0	1

※( )内町内域全体の人数

##### (3) 高校中退者

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
中退者数	1人	0人	1人	0人	2人

※( )内町内域全体の人数

(4) 自主活動学級の状況

	小学生		中学生
	低学年	高学年	
学 力 向 上	読み聞かせ、能力（発達段階）に応じた課題 国語、算数が中心 図書館での学習 T. Tによる指導	能力（発達段階）に応じた課題 国語、算数が中心 図書館での学習 T. Tによる指導	能力に応じた内容 国語、数学、英語が中心 （段階別、問題集、補助教材等を使用する） T. Tによる指導
仲 間 づ く り	室内ゲーム、屋外ゲーム、いも植え・収穫・調理、表現活動（音楽等）、創作活動（工作等）	室内ゲーム、屋外ゲーム、いも植え・収穫・調理、表現活動（音楽等）、創作活動（工作等）	レクリエーション（卓球、ゲーム等）月に1回
そ の 他	人権学習、地域学習（探検、地図作り、あい染め）、地域の方との交流	人権学習、地域学習（探検、地図作り）、お年寄りとの交流	人権学習
指 導 者 <small>（他）タ職員加配教員 大学生 教員OB、外宿等</small>	小学校教員 小学校加配教員 センター職員	小学校教員 小学校加配教員 センター職員	中学校教員 中学校加配教員 センター職員 等

5 地域福祉・保健衛生の状況

区 分	地 区 内		市 全 体
	平成10年	平成22年	平成 22 年
生活保護世帯数（生活保護率）	(3) 世帯 (%)	(7) 世帯 (1.5%)	532世帯 0.6%
母子・父子世帯数	(14) 世帯	(5) 世帯	885世帯
身体障害者（児）数	一人	(26) 人	3,375人
65歳以上老人数	(142) 人	(232) 人	21,399人
独居老人数	(15) 人	(26) 人	4,031人
独居老人率	(10.6)%	(11.2)%	18.8%

※（）内調内域全体の人数

6 就労の状況

(1) 若年層の状況

進学・就職は一定、安定しているものの、中退者や生活基盤が不安定な者の中には就労意欲が乏しい者も見られる。また、就職意欲があっても、学歴等の問題で希望する職種に付けない者もいる。



(2) 中高年層の状況

一旦退職した場合、求人が少なく再就職に苦勞する現状である。

7 地区の課題

【生活・福祉】

あらゆる同和施策の実施により、生活水準、教育水準の向上が図られ、一般地区との較差はほぼ解消されたと考えられるが、一部の住民において、なかなか社会適用が出来ずに今日まで及んでいる状況である。これらの住民に対して、支援を継続する必要がある。

【教育】

小学生については、基礎・基本の学力の定着が不十分な子どもが複数いる。また、生活環境の複雑な家庭、生活習慣が未確立の家庭などがあり、そのことを背景とした不安定な生活態度の子どもも複数いる現状である。

中学生については、個々に学習支援が必要な子どももあり、年次によっては、市全体と比べると学力較差が見受けられ、この較差を解消していくことが必要である。

【就労】

多くの住民が安定就労を獲得し、一般地区と同様の生活水準を保てるようになっているが、一部の住民は、現在も不安定な生活レベルにあり、改善が見込まれない状況にある。

【その他】

転出入が盛んで、新旧住民の混住化が進む地域にあって、価値観や人権意識、同和問題に対する考え方が多様化してきており、地域の総意形成が困難な状況にある。